

【 I . 分野横断的な取組】

1. 新たな国土のグランドデザインの策定

国土形成計画(全国計画)策定から5年が経過し、我が国の国土を取り巻く状況は大きく変わってきていることから、人口の減少・地域的偏在、グローバル化、巨大災害等に対する国土の脆弱性など、国土をめぐる将来への不安感・危機感を払拭し、2050年頃までの長期を見据え、持続的な成長への期待を確信できる国土・地域づくりの理念・哲学等を示す新たな「国土のグランドデザイン」を平成26年春までに策定するとともに、それを踏まえた課題に具体的に対応するための戦略づくりを進める。

2. 社会資本整備の基本方針の策定

高度成長期以降、インフラの整備が進んできたが、今後はそれらが急速に老朽化していく。一方、厳しい国土条件であること等から、整備は未だ不十分である。このような状況において、切迫する大規模地震、近隣諸国との国際競争の激化などに対応していく必要がある。これらを踏まえ、蓄積されたインフラを戦略的に維持管理・更新し、また、賢く使うとともに、時代のニーズに対応した選択と集中を実行しつつ新たなインフラ投資を行っていく。このような、21世紀型の社会資本整備を進めるための基本的な考え方を平成25年内にとりまとめる。

3. 交通政策を総合的かつ計画的に推進するための枠組みの構築

強い日本、強い経済、豊かで安全・安心な生活を実現するため、交通政策を総合的かつ計画的に推進する必要がある。このため、交通政策についての基本理念、その推進に当たり基本となる事項等を明らかにし、関係者が一体となって強力に交通政策を推進するための枠組みを構築する。